1953年6月16日　第三種郵便物認可

2024年５月６日（月）３161号　隔週月曜日発行

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ
株価が上がっても暮らしがよくならないのはなぜ？　６、７面
ルポ　ウクライナ侵略２年　３面
格差と貧困が広がるいま、社会保障の拡充を　10、11面

▶ホームページ www.dylj.or.jp　▶Eメール minsin@dylj.or.jp

いまだ続く深刻な震災の影響

能登半島地震から４カ月

能登半島地震から４カ月が過ぎました。被災地の状況や、何が求められているのかを伝えるため、４月17日～18日に記者は、日本共産党と民主団体が共同で設置した「能登半島地震被災者共同支援センター」（石川県羽咋市）を訪れ、同センターの支援活動に同行しました。また、ボランティア活動を行った石川県の学生同盟員たちにも取材し、思いを聞きました。

（文中の青年は仮名、塩田悠玄記者）

▶能登半島地震によって壊れた家屋（４月17日、輪島市）

「水が出るのは６月末」

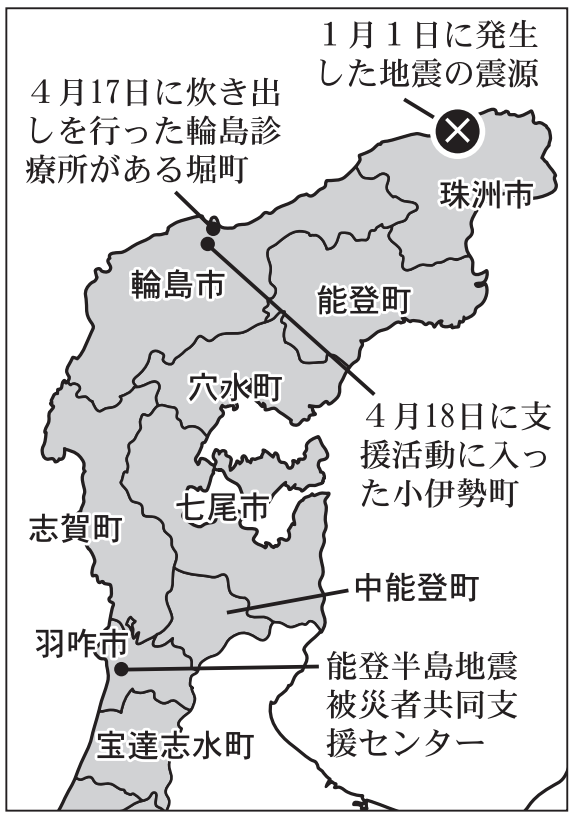
記者が共同支援センターの支援活動に同行した４月17日は、輪島市堀町の輪島診療所の横で農民運動全国連合会（農民連）が定期的に行っている炊き出しに合わせて、米や野菜などの食料品を被災者に手渡す会も行われることになっていました。全国から共同支援センターに届いた支援物資を、車に積めるだけ詰め込んで出発しました。

羽咋市から輪島市へと向かう道は、地震の影響を受けて状態がかなり悪くなっていました。道路が数メートル以上陥没している所もよく見かけました。地震の被害が特に大きかった輪島市内に入ってからは、倒壊した家屋が一気に増加。地震の大きさをまざまざと見せつけられました。

正午の少し前から始まった支援物資の手渡し会は、多くの被災者が利用し、米やイモ類が真っ先になくなるなど、40分ほどで用意した食料品のほとんどがなくなりました。同時に行われていた炊き出しにも長い列ができていました。

支援物資の手渡し会を利用した被災者の状況はいまだ深刻で、「輪島朝市」（輪島市の観光名所で、地震による大規模火災が発生）の通りにあった自宅が全焼したという人も。「炊き出しを利用するのは２回目」と言う被災者は、「家の倒壊とかそういうのは大丈夫で断水もない。ただ、水道工事が敷地内だと自腹なので、それに補助を出してほしい」と話しました。

輪島市内のアパートで暮らす被災者は、「建物自体は無事だったが、家まで水がまだ届いておらず、蛇口をひねってもまったく水が出ない。水が出るのは６月末とか言われている」と話し、「トイレはアウトドア用の簡易トイレ用品などを使って済ませている」と言います。「水が来てなくて料理が作れないから、（炊き出しなどは）よく利用する。やっぱり衣食住の『食べる』って一番大事だから。それに、家の片づけとかで疲れているのに、ご飯も作らないと駄目ってなったら余計大変だし、みんな家がつぶれていてこれからそこにお金を使わないといけないってこともあるし、こういう支援はありがたい」と話しました。



戻ってはきたけれど…

炊き出しを利用した２人連れには、地震からもうすぐ４カ月がたとうとする中で、生活再建や復興を進める上で足りていない部分や不安な点などを聞きました。「倒壊した家がそのままの場所が多く、それが道路に出ているのも結構ある。道路もすごいがたがたで、この辺り（輪島診療所のある周辺）も地震の前はちゃんとコンクリートで舗装されていた。いまは車で通るのが大変で、車のタイヤがパンクしてしまう人も結構いる。道の悪さをどうにかしてほしい」と話します。「自分たちは仕事場が倒壊してしまったので、いま完全に休職状態。収入がないのでこれからどうしようかと考えている」と不安げな面持ちで話しました。

２人の子どもを連れて炊き出しを利用した被災者は、「３月末まで金沢の方に避難していた。家は水道も電気も通って住めるようになったので、４月から輪島に戻ってきた」と話します。「小さい子もいるのに、遊びに連れて行く所が本当にない。安心して遊ばせられる所が地震でなくなった。（生活再建する上では）子どもが住みやすい環境づくりを一番にしてほしい。家が倒れてしまって家族ごと引っ越した人も結構いる。小学校とかも完全に元通りじゃない。私たちは家が大丈夫だったから思い切って戻ってきたけど、子育て環境が元に戻らないと、ここで生活していくのは厳しいものがある」と話しました。

（２面につづく）

▲羽咋市から輪島市に向かう道路にできた大きな陥没。道路のそこかしこが陥没しており、そこを避けるように道が曲がりくねっているため移動に時間がかかる（４月17日）

発行所
日本民主青年同盟中央委員会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-2
電話(03)5772-5701　FAX(03)-5772-5702

日本民主青年同盟中央機関紙

定価　月680円　〒130円　1部340円
郵便振替00180-4-106690